

## 平成27年度第1回CCC体育学グループ運営委員会 議事概要

- I. 日時 : 平成27年11月7日(土) 18:00~20:00
- II. 場所 : 私立大学情報教育協会 事務局 会議室
- III. 出席者: 大橋委員、田附委員、内山委員、來田委員  
(事務局) 井端事務局長、森下主幹

### IV. 資料

1. 平成27年度第1回CCC体育学グループ運営委員会の運営について
2. 平成27年度事業計画
3. 平成26年度事業報告書
4. 対話集会に関する検討(メモ)

### V. 議事内容

#### 1. 前回議事内容の確認

平成26年度第4回委員会の議事概要が確認され、承認された。

#### 2. 教育改善モデル【3】について

昨年度作成した到達目標4「身体文化としてのスポーツが持つ社会的機能について理解し、多文化・多様性を尊重する社会の発展に貢献できる」の一部を実現するための教育改善モデル【3】について、概要図を含めて確認し承認された。その後、Webへの掲載を更新することにした。

#### 3. 平成27年度事業の進め方について

昨年度は、教育改善モデル【3】の検討を進め、アクティブ・ラーニング対話集会が実施できなかったことから本年度は体育学グループ単独で対話集会を実施することにした。

##### (1) 対話集会の進め方について

昨年度作成した到達目標4「身体文化としてのスポーツが持つ社会的機能について理解し、多文化・多様性を尊重する社会の発展に貢献できる」について、

- ・ この提案ははまさにアクティブ・ラーニングであり、これをテーマにする。
- ・ 学士力として提案した内容について多くの方のご意見を聞く対話集会にする。

このことを踏まえて、「スポーツを通じた開発分野への貢献につながる教育を考える」対話集会とすることにした。

##### (2) 対話集会での話題提供について

教育改善モデル【3】の学修方法について話題提供いただく

- ① スポーツの社会的機能を応用した実践活動について、国内外の諸機関とも連携しながら情報収集させる
- ② 各種団体の成果報告書などを踏まえて、スポーツの社会的価値の重要性・可能性についてグループディスカッションさせ、身近な地域で体現できるフィールドワークの企画書を作成させる。
- ③ 作成した企画書について学修支援システムを用いて他のグループと相互評価を行い、企画案を改善し、まとめさせる。
- ④ フィールドワークが可能であれば企画案を実践させ、実施モデル(企画書・実践記録・課題

および改善案) をネット上に公開し、学内外の専門家の意見を参考に相互評価を深めさせる。

このような内容の教育の実践事例として筑波大学、大阪大学、国際武道大学の大阪大学、国際武道大学の事例が紹介され、検討の結果以下の話題提供をお願いすることとした。

<話題提供「スポーツを通じた開発分野への貢献につながる教育を考える」>

- ① スポーツを通じた国際協力・社会貢献力を育む教育について (仮)

岡田 千あき 氏 (大阪大学 人間科学研究科)

- ② 国際協力におけるスポーツの役割を理解させる教育について (仮)

木村 寿一 氏 (国際武道大学 国際スポーツ文化学科)

<意見交換>

「スポーツを通じた開発分野への貢献につながる教育を考える」をテーマに参加型・体験型授業のあり方について意見交換を踏まえて考察する。

<対話集会の日時・場所>

- ・開催場所 アルカディア市ヶ谷 (私学会館) を候補にする。
- ・開催日時 話題提供をお願いする講師のご都合に合わせ、平成 28 年 1 月 24 日、1 月 31 日の 14 時～16 時で検討する。
- ・開催要項 作成した開催要項は以下の通り

## 公益社団法人 私立大学情報教育協会 体育学教育におけるアクティブ・ラーニング対話集会 開催要項

### 1. 開催の目的

本協会で作成した教育改善モデル及び教員の実践事例を踏まえて、アクティブ・ラーニングを実現するための様々な教育方法、学修環境を整理・研究する中で、ICT の活用を含めた効果的な取り組みの促進を目指します。

### 2. 開催のねらい

- ① 学生の主体性を引き出し・伸ばす学修の重要性を認識します。
- ② 一方的な授業とは異なり、学生の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学修法を認識します。問題発見学修、問題解決学修、体験学修、調査学修等が含まれますが、グループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等、有効なアクティブ・ラーニングの方法・環境について探求します。

### 3. 事前準備について

※本協会のビデオ・オンデマンド配信事業 (有料) は利用申し込みが必要です。大学で利用申し込みされているかご確認下さい。なお、参加されていない大学は参加いただくか、下記の講演資料をご一読下さい。

ビデオ・オンデマンド配信事業のご案内 <http://www.juce.jp/ondemand/>

大学での利用申込確認・視聴方法について <http://www.juce.jp/senmon/ondemand/>

- (1) 主体性を引き出すための初年次教育について、事前に本協会ビデオ・オンデマンド配信事業の「主体性を育む授業とは」安西祐一郎氏の映像資料を事前にご覧願います。

① 安西氏の講演資料	<a href="http://www.juce.jp/ondemand/">http://www.juce.jp/ondemand/</a>
② 産学連携 PBL 実践報告の関連資料 <small>(初教育総合研究所)</small>	<a href="http://www.juce.jp/senmon/active/">http://www.juce.jp/senmon/active/</a>

(2) アクティブ・ラーニングと教学マネジメントへの取組みについて理解を共有するため、併せて以下の映像及び資料を事前にご覧願います。

① 本協会の機関誌「アクティブ・ラーニングとはなにか」 (長崎大学：山地弘起氏)	<a href="http://www.juce.jp/senmon/active/">http://www.juce.jp/senmon/active/</a>
② 本協会の機関誌「反転授業を組み合わせたアクティブ・ラーニングの取り組み」(山梨大学：森澤正之氏)	
③ オンデマンド「スクリーンキャストシステムによる講義ネット配信を用いた工学教育における反転授業の試み」(山梨大学：森澤正之氏)	<a href="http://www.juce.jp/ondemand/">http://www.juce.jp/ondemand/</a>
④ オンデマンド 12月1日から配信開始 ※ 「アクティブ・ラーニングの体系化と教員の教育力養成、学修プロセス・成果の可視化を目指した改革戦略」(玉川大学：稲葉興己氏) ※ 「教学マネジメント体制構築の試み」(横浜国立大学：梅澤修氏)	

#### 4. プログラム 【平成28年1月24日(日) 14:00~16:00】

(1) 開催趣旨説明とこれまでの研究の経緯

(2) 話題提供「スポーツを通じた開発分野への貢献につながる教育を考える」

① スポーツを通じた国際協力・社会貢献力を育む教育について (仮)

岡田 千あき氏 (大阪大学 人間科学研究科)

② 国際協力におけるスポーツの役割を理解させる教育について (仮)

木村 寿一 氏 (国際武道大学 国際スポーツ文化学科)

(3) 意見交換

「スポーツを通じた開発分野への貢献につながる教育を考える」をテーマに参加型・体験型授業のあり方について意見交換を踏まえて考察します。

#### 5. 参加対象者

国・公・私立大学に所属する教員及び教育支援に関係する職員

#### 6. 日程

平成28年1月24日(日) 14:00~16:00

#### 7. 会場

アルカディア市ヶ谷(私学会館) 7階 琴平

東京都千代田区九段北4-2-25 案内図 <http://www.arcadia-jp.org/access.htm>

#### 8. 定員

50名(先着順で受け付けます。)

#### 9. 参加費

無料

#### 10. その他

話題提供の内容は個人情報に配慮して収録し編集後にネット上で動画配信します。

意見交換の様子(背面からの遠景)は個人情報に配慮して収録し編集後に加盟校に限定してネット上で動画配信します。また、意見交換による課題の整理は文章で本協会委員会のWebに掲載する予定にしております。

1 1. 資料について

話題提供の資料は開催の1週間前を目途に以下のURLに掲載します。  
<http://www.juce.jp/senmon/active/>

1 2. 参加申込について

以下の申込書に記入の上、FAX 又はメールにて「平成28年1月18日」までにお申し込み下さい。

\*\*\*\*\*

体育学教育における  
アクティブ・ラーニング対話集会参加申込書

※ 必要事項を記入の上、FAX (03-3261-5473) またはメール (hsprtr@juce.jp) にて平成28年1月18日迄にお申し込み下さい。

- ・ご記入いただいた個人情報、本協会の事務連絡及び委員会活動の案内に限定して利用させていただきます。
- ・データベース管理作業の外部委託の際は目的外の利用や情報の流出がないよう、十分留意いたします。

『参加者記入欄』

※ できるだけ詳しくご記入下さい。後日、収録ビデオ配信のご案内や、今後の活動のご案内をさせていただきます。

ふりがな ( )

氏名:

大学名:

所属・役職:

E-Mail:

(